



メタセコイアの紅葉  
千秋病院にて  
柴田 伸治さん

# 尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 上平 安秋  
〒491-0815 一宮市千秋町塩尻字山王7-5  
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424  
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2023年10月 NO.425

2023年8月現在 友の会員数 4,965(内社員数829)

## 10月29日(日)は 家族健康まつり 家族みんなで参加しましょう!!

■日程 10月29日(日) 10時~14時  
■会場 千秋病院敷地内  
健康企画 フレイル予防体操教室  
ステージ企画 模擬店 ほか  
主催 尾張健康友会健康まつり・盆おどり実行委員会  
☎0586-76-0003・090-1825-3567

恒例の家族健康まつりを4年ぶりに開催することになりました。家族健康まつりは、千秋病院ができる前から友の会・職員、千秋病院近隣の皆さんがつどい、交流し合う場として開催してきました。

**みんな笑顔で健康づくり**

国の社会保障制度はほとんど改悪される中、友の会会員や地域住民の高齢化が進み、多くの人が医療、介護を受けにくくなっています。尾張健康友会はコロナ禍でも、地域住民の健康を守るために、班会やフレイル予防などに取り組んできました。

10月15日(日)はマンモサンデー  
日曜日に乳がん検査を受けられます  
お問い合わせは千秋病院☎0586(77)0012へ



関連記事：2、4、6面

「長年開催してきた平和盆おどりはやりた」と友の会各支部で話し合い、出し物の中身を変えて実施しました。初日の夕方には雷がどろき、開催が危ぶまれました

平和盆おどりを8月26・27日に開催しました。2日間でのべ1200人が参加しました。コロナ禍前のように開催できるか不安でしたが、それでも、

**盆踊りが続けられるのは 平和な社会であってこそ**

は、多くの人たちの参加と他団体の協力で、楽しい家族健康まつりにしたいと思っています。

※雨天実施(台風接近の場合は中止します)  
※新型コロナウイルス感染症状況によっては中止

いのちの相談所  
10月11日 於のわみ相談所

ピエロによるステージモルック体験会もあるよ

### 2023年度組織強化月間 尾張健康友会グループを強く大きくしよう ～9月準備期間、10～11月強化月間、12月予備期間～

- 組織強化月間は、「いのち・暮らし・平和」を尊重する社会を発展させ、医療・介護・福祉が充実した安心して暮らせるまちづくりをめざし、一人ひとりが健康で安全・安心に地域で暮らせるよう、ささえ合える仲間をふやすことを目指します。
- みんなで、力を合わせて組織強化月間を成功させましょう。
- 子どもから高齢者まで多くの方を誘い合って「家族健康まつり」に参加し、健康づくりの輪を広げましょう。
  - 私たちのいのちと健康にかかわる健康保険証のマイナンバーカードへの一体化に反対し「健康保険証をなくさないで」の運動を盛り上げましょう。
  - 医療・介護・福祉・暮らしを向上させるため、自治体キャラバンや10・19いのちまもる総行動で声をあげましょう。
  - 民医連の健康情報月刊誌「いつでも元気」を地域で、職場で広めましょう。
  - いのち・暮らし・平和の学習を深めるため、民医連学習動画や民医連新聞等を用い、地域・職場で話し合い、人権や平和憲法を守ろうの声を広めましょう。
  - 「私たちの病院・施設を守ろう」を合言葉に、基金・出資金を増やす取り組みをすすめてみましょう。
- 社員・友の会会員・職員が協力し、地域で保健予防活動の取り組みを広め、尾張健康友会グループを通じて支えあう仲間を増やしましょう。
  - 地域の期待と要望に応える医療・介護・福祉の活動をすすめてみましょう。

が、小雨の中で決行し、夜は雨量が増える予報が出ていたため、予定を30分早めに切り上げて終了しました。2日目は幸いの好天に恵まれ、踊りの輪が5重に広がりました。

今年度の平和盆おどりは、若者世代の家族連れが目立ち、おなじみの曲が始まると、小さな子から高齢者まで多くの参加者が輪の中に入り、踊りを楽しみました。

今、日本では少しずつ戦争の準備が進められています。こうして楽しく盆踊りを続けられるのも、平和な社会があつてこそです。みんなで平和を守っていきましょう。

健康まつり・盆おどり  
実行委員長 上平 安秋

**ひとみ**

一宮市の来年度保育士採用予定人員は50名です。来年が特別に多いのかというところ、そうではなさそうです。退職者の補充のための採用ではなく、保育の仕事は過酷で、中途退職が多いためです。保育園生活は子どもの人生の土台を作る大切な6年間。良い保育は保育士の経験が必要とされます。この状況では保育経験が蓄積されません

▼日本の保育士の配置基準は、0歳児は子ども3人につき保育士1人、1・2歳児では6人に1人、3歳児では20人に1人、4・5歳児では30人に1人です。4・5歳児については70年以上も変わっていないまま現在に至っています▼「子どもたちにもう1人保育士を！」の運動が、この愛知を起点に全国に広がり、テレビや新聞に取り上げられました。国会でも議論され、子ども家庭庁発足に合わせて発表された「異次元の少子化対策」のたたき台の中では配置基準を改善するという文言が明記されるに至りました▼しかし、抜本的な改善にはもうあと一歩が必要とされます。この運動にぜひ賛同の声をあげましょう。

(博)